

平成18年度卒業研究テーマを募集します

募集分野

工学部

機械システム工学科
 知能デザイン工学科
 情報システム工学科

短期大学部

生物資源専攻
 環境システム工学専攻

応募期間

平成18年1月31日（火）まで
 申込書は大学HP (<http://www.pu-toyama.ac.jp>) からダウンロードできます。

平成18年度講座横断型修論テーマを提案します

提案分野

大学院工学研究科

機械システム工学専攻 知能デザイン工学専攻
 情報システム工学専攻 生物工学専攻

提案日

平成18年2月22日（水） 「富山県立大学フォーラム2006」にて提案します。

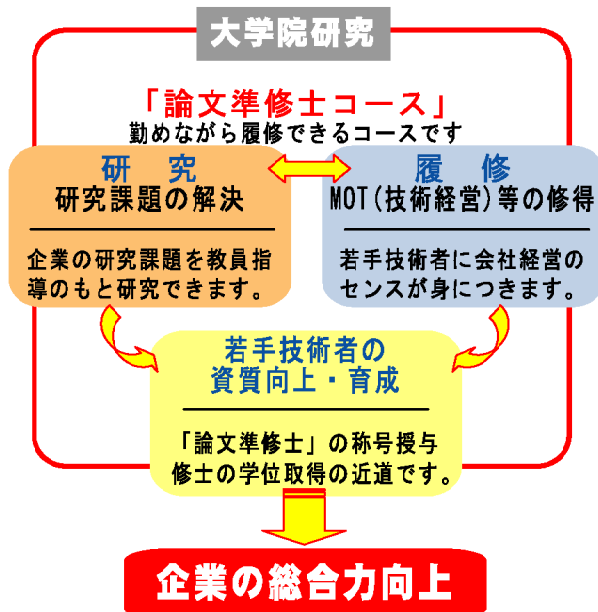
大学院研究生「論文準修士コース」募集のご案内

平成18年度から魅力ある大学院づくりの一環として、大学院工学研究科にMOT(技術経営)科目を開講するとともに、社会人を対象にした大学院研究生「論文準修士コース」を開講します。

また、MOTの講義を試行的に実施する「MOT科目実証講義」を下記のとおり開催しますので、多数のご聴講をお待ちいたしております。

<MOT科目実証講義>

1. 開講日時 11月4日～12月9日
 毎週金曜日（11月11日を除く）
 14:40～16:10 16:20～17:50
2. 開催場所 講義棟3階 F-321講義室
3. 受講対象 一般の方、企業の技術者及び研究者の方、本学大学院生
4. 受講料 無料（当日でも受講可能です）



双葉（2学科）から四つ葉のクローバー（4学科）へ

平成18年4月、富山県立大学工学部は、機械工学、電子工学、情報工学の融合を目指す知能デザイン工学科、グリーンバイオテクノロジーに取り組む生物工学科を新たに開設します。これまでの機械システム工学科や電子情報工学科もリニューアルし、4学科体制で新たなスタートを切ります。

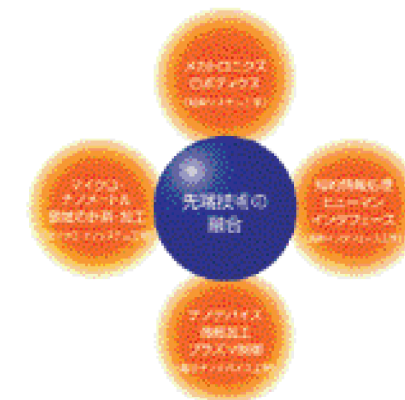
知能デザイン工学科

～先端技術の融合と革新～

近年の工業技術は、コンピュータ工学やロボット工学、さらにはナノテクノロジーの急速な進展によって大きな転換期を迎えています。家電製品や自動車などに見るように、物づくりでは電子工学や機械工学を基盤に、情報工学によって知能化することが必要不可欠となってきています。本学科では、こうした社会変革に対応するため電子工学、機械工学、情報工学分野の先端技術の融合によりマクロからミクロまで、幅広い視野で革新的な技術開発のできる技術者・研究者を養成します。先端技術の融合により、高齢社会、地球環境保全、高機能化、超微細化、超集積化、超小型化、安心・福祉社会、高セキュリティなどのための革新的な技術開発を目指します。

本学科は知能システム工学、知

能インタフェース工学、マイクロ・ナノシステム工学、電子ナノデバイス工学の4部門で構成します。知能システム工学では、メカトロニクス技術を基盤として柔軟で高機能な知能ロボット、知的インタフェース工学では人間の柔軟で優れた能力を模擬した知的情報処理やヒューマンインタフェース、マイクロ・ナノシステム工学ではシステムの小型・軽量・高性能化のためのマイクロ・ナノ領域の工業的な計測や加工、電子ナノデバイス工学ではナノテクノロジー、



プラズマ応用、量子力学的なナノ構造制御による電子ナノデバイスについて教育と研究を行います。これまで以上に少人数教育、個々の学生に着目した教育を徹底し、学生自らが主体的・意欲的に新しい課題にチャレンジし、人間性豊かな創造力と実践力、問題解決能力を身につける教育を行います。地域産業の発展に役立つ大学として、世界を相手に新技術の創出や製品開発の行える人材育成に努めます。また、地域社会の高度情報化、国際化を図り、地域社会の拠点となる学科を目指します。

生物工学科

今日では、健康、食糧、環境問題の解決が重要課題となっており、医学、化学、食品、電子機械、環境エネルギーなどの産業分野の技術基盤となるバイオテクノロジーに注目が集まっています。

生物工学科では、学部から大学院の一貫教育を通して、次代を担うバイオ人材の育成を目指した基礎教育を行います。生物の機能を、物質生産や環境修復などに役立てる「グリーンバイオテクノロジー」を主題に、これらの研究・開発に携わる高度な研究者や技術者、また化学工業、食料品製造業など

の幅広い分野で活躍できる人材の養成を目指しています。



生物工学研究センターでは、微生物バイオによるファインケミカルや基礎化学品などの有用物質生産、バイオ医薬品などのグリーンバイオテクノロジー分野の4部門で実績を上げてきました。新たに植物バイオ、機能性食品、生物情報分野の3部門を加えて7部門に拡充し、省エネルギーで環境にやさしいプロセスやバイオプロダクトの開発による「グリーンバイオテクノロジー」の世界的な拠点の形成を目指します。